①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

	長期振興計画の位置づけ	まちづ	くり分野	ひと分野			担当課	社会教育課			
		政策分野		文化・スポーツ			課長名		古市善哉・沖田純一郎		他一郎
		施策		17 芸術文化・文化財保護の充実		重点施策の該当	R4	-	R5	-	
	施策の目的	対象	象 市民、文化財		意図	郷土に誇りと	:愛着を持ち、豊かな	な心を	育むこ	とがで	きる

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の ()書きは見込み値)							
日保相保(半位)	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標		
郷土の文化財に愛着・誇りを 持っている人の割合(%)	62.7	59.5	63.6 (72.0)	(72.0)	(72.0)	(72.0)		
地域の伝統行事や文化事業 を観覧した人の割合(%)	23.3	19.3	25.9 (60.0)	(60.0)	(60.0)	(60.0)		

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年	年度実績 令和6		F度実績	令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
63.6	27.0	65.3	28.1						
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
57.9	17.6	59.5	17.0						

施策推進のための取組の成果を測る指標

甘士市世名	関連		指標の推移(下段の ()書きは見込み値)						
基本事業名	戦略 No.	成果指標(単位)	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標	
芸術·文化活動の推進		芸術文化に関するイベント数(回)	-	-	6 (5)	(5)	(6)	(7)	
芸術・文化活動の推進		文化月間(11月)中のイベント参加者数(人)	506	1,805	1,392 (1,800)	(1,500)	(1,700)	(2,000)	
文化財保護の充実・活用		(国·県·市)指定等文化財件数(件)	76	76	76 (78)	(78)	(79)	(79)	
文化財保護の充実・活用		郷土の文化財に愛着・誇りを持っている人の割合(%)	62.7	59.5	63.6 (72.0)	(72.0)	(72.0)	(72.0)	
文化財保護の充実・活用		郷土の文化の保存・保護 が大切と思う人の割合 (%)	89.0	87.2	90.3 (89.5)	(89.6)	(89.7)	(89.8)	
伝統文化・民俗芸能の保 存と活用	8-17	地域の伝統行事や文化事 業を観覧した人の割合 (%)	23.3	19.3	25.9 (60.0)	(60.0)	(60.0)	(60.0)	
伝統文化・民俗芸能の保 存と活用	13-32	郷土芸能公開団体数(件)	4	3	3 (14)	(14)	(14)	(14)	

②-1 振り返り(Check)

	施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応			
[社会教育課] 基本事業No.59	・文化活動の中心母体である市文化協会は、文化協会員が主体となって運営しているが、少子高齢化等も相まって会員数が減少傾向にある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民文化祭や広域文化祭が実施できなかった。			
	・コロナ禍で、地域に伝わる郷土芸能や民俗行事の中止が数年続き、保存継承活動に影響がでてきている。文化財所有者の世代交代がすすみ、資料の維持管理等の問合せが増加傾向である。			

施策マネジメントシート ~令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ~

	施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題							
		成果	現状·課題					
[社会教育課] 基本事業No.59	体文行化ま祭・症運学・会勢でで	・事務局において市民文化祭の中止の決定がなされた。	・1市3町の持回りで実施する地区広域文化祭の今後の在りたについては引き続き、地区協議会の中で検討していく。 ・自主文化公演事業については、市民のニーズを考慮しながら予算の範囲内で招聘できるものを開催している。また、文化庁主催による巡回公演は、各学校のニーズをもとに事業を組み立てている。 ・令和5年度は、民間団体の1公演と2回の映画上映を計画している。					
[社会教育課(文化財 基本事業No.60・61	計・を・文・対・発感・た・文・人が発掘染・た・ので、	活用計画策定のため、旧上妻家住宅保存活用計画検 員会の開催、専門調査を実施した。 妻家住宅保存活用計画を策定し、保存と活用のルール)た。 編さん事業と連携し、専門的な調査を行いながら市内の 材の把握に努めた。 の文化財について関係機関と連携し調査、保存保護の で図った。 事業と埋蔵文化財保護の調整を図るため、埋蔵文化財 間査を実施した。 対策をとりながら、鉄砲館を開館し企画展等を実施し 報誌に文化財関連記事を毎月掲載し、文化財の普及啓 そのた。	・文化財保存活用地域計画の策定(令和6年度策定、令和6年度 文化庁認定) ・個別の文化財の保存保護のための調査充実(旧上妻家住宅、月窓亭、上妻家史料) ・文化財の滅失、散逸を防ぐための調査の充実 ・学校教育・社会教育と連携した郷土学習の充実 ・文化財保存活用拠点施設である「鉄砲館」の整備・充実(収蔵庫増設、施設改修等) ・文化財を活かした地域づくりの推進(他部署との連携) 文化財看板の多言語化等					
今後の方向性		今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦	略との関連、環境変化等を踏まえ記入)					
継続・現 [社会教育課] 状維持 基本事業No.59								
拡大·充 実 [社会教育課(文化 財)] 基本事業No.60·61		別 休付/ 川川地域 回ざ水止し、 門内に返る 多く切 入 化返性 に						
②-2 政策部会によ	る振り	返り(Check)	(6月中に記入)					

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
	【教育振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。